

り外ないのであります。始まつたらその夜を過さず醫師にみせて手當をしなければならぬ、明日になつたらなどと云つて居るともう手後れになつてしまひます。此の病に罹つたら殆んど絶對に望みはないと書物にある位なのであります。熱が出たら直に醫師にみせると、醫師は腸を洗ひ、下劑をかけるといふことが唯一の療法である。洗腸

も普通は五百位と云ふ處を三千、四千、若くは五千と云ふ位、澤山の水を入れて洗ひ、二時間か、三時間置きにそれを繰り返し、一方に下劑をかけて上の方にあるものを排泄し、なるべく短時間にすかり排泄させてしまへば、生死の境を脱するこゝとは出來ます。それから癒るまで一月位はかかるのであります。

## 家庭教育 手工應用 玩具の造り方

英國手工視察員 デョーデ、デヨンソン著

東京女子高等師範學校助教 藤 五代 策 譯

はしがき

「家庭は子供の懐く様にせねばならぬ」と云ふ諺がある。何んな子供でも物を造ると云ふ嗜好を持つて居る、而して此の嗜好は良い家庭に於ては或る程度までは満足されて居る。然るに現今一般

の家庭を観るに、技巧を凝した玩具に随分餘計な金をかけて居る様であるが、之は徒らに子供が自身で自身の玩具を作つて試やうとする貴重な機會を奪ふ様なものである。今日の玩具の機械の如き

は彈條を卷きさへすれば獨手に動き、軌道は只繼ぎ合せさへすればちやんと出來上るのであるから、子供は毫しも頭腦を働かせない。之れでは子供に玩具を買つて與へる眞の目的を達したとは言へない、寧ろ簡單な方法を授けて自分手に工夫させて造らせるに如くはない。而したら勢ひ自己の希望を達せんが爲に色々と考え案を廻らす事になるから、子供の想像力の鍛練にもなれば、發明的、構造的智識の涵養にもなり、併せて時間、金錢の貴重なる事を覺る様にもなり、其他様々なる智識良習慣を得らるゝ様になる。此の書が生れたのも全く家庭に此の種の趣味を進め度いと著者の熱誠に外ならぬ。蓋し本書の徳義上、社會上の價值は一般の手工敎授書と同一の選に非ず、説く所の方法は極めて斬新で、如何なる子供にも適し、其の材料は極めて廉價である。試みに愛子に材料と本書とを與へて無駄な時間を愉快に、有益に利用せられん事を望む。

## 特色

本書に説ける玩具は大概燐寸棒や、被せ板を用ふるのであるが、之等で作つた品は非常に堅牢で、到底紙や板紙の及ぶ所でない、而して出來上つた品は以前の紙を裁つて作る方法で出來た品よりも遙かに實際的で且つ實體的である。

今一つの明かな利益がある、それは車子だとか秣槽の様な玩具は實物を作ると同じ方法で作る事が出來るから、子供は實物の紛雜だ組立を譯もなく想像する事が出來る。更に例を引いて説けば、箱の如き極めて簡單な玩具を造るにしても、紙や板紙で造るには底面、側面、蓋等を豫め平面に描いて置いて然る後折り上ぐればちやんと箱が出來る様に造らねばならぬのであるが、幼稚な子供の頭では中々此の設計をするのは六ヶしい、所が之を被せ板で作る時は實際の箱と同じ様に板を一枚々々取り離して作るのであるから、雜作もなく考案が浮ぶのである。

本書に掲ぐる所の圖解の寸法は只其の觀念を興へるに止まつて居る。何故かと言へば一定の寸法、一定の形式によりて玩具を作らせるのは不必要の事でもあり、又餘り好ましからぬ事でもあるからである。又或る場合には全く寸法を與へずに雛形のみを示して、それを手本として作らせ、又は自己の考案によつて作らせる等も利益があらう。

材料と用具

- 一、燐寸棒。普通用ふる燐寸よりは太くて、長さも四寸五分許りある。家で作つても餘り手間の取れるものではない。
- 一、被せ板。松の材で作つたのが宜しい。但し折詰の空箱を利用するも宜し。

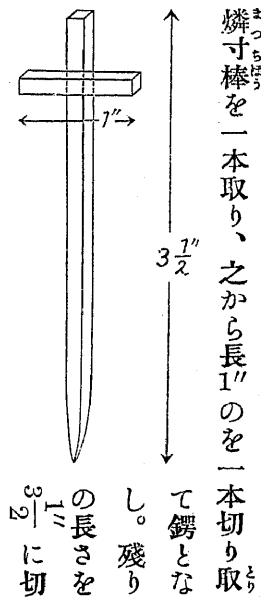
一、膠

一、紙と板紙。或る玩具には紙や板紙を用ふるものもあるが、被板の手に入らぬ地方では被板の代用とするも宜し。

一、小刀と鋏。普通のもので差支へない。

一、留針。

第一圖 劍



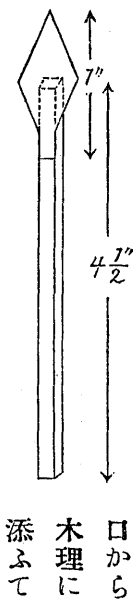
り、其の一端を削りて尖らし、他の一端から凡そ位所に劍の身と直角になる様に鏢を膠で附着する。そこで注意せねばならぬのは、鏢が一方に出過ぎたりなんかしない様に恰度平均させる事である。

(注意 圖解中吋は(寸)を以て表し呎は(尺)で示す。併し吋は寸とし呎は尺としても宜しい)

第二圖 槍

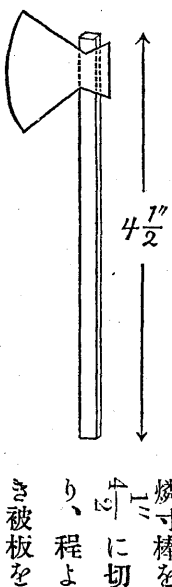
燐寸棒を(寸)に切りて槍の柄となし、穂は被板又は折詰の空箱を長(寸)幅は見計つて釣合の取れる寸法に裁ち、之を柄の頭部に附着するのである。

穂の附着方法に今一つある、それは柄の一端を切



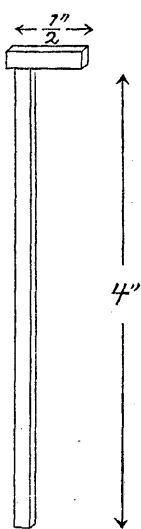
少し許り割き、其の割目に穂を挿みて膠を着けるのである。

第三圖 斧



取りにて圖に示せる如く柄の長さとも釣合ふ形に裁ち、前の槍と同じ様に柄に附着するのである。

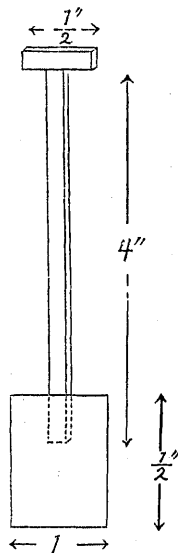
第四圖 ステッキ



圖の寸法によりて二本の棒を作り、之を膠で附着

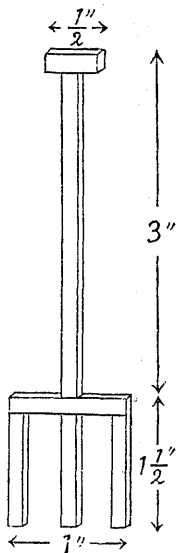
するのである。

第五圖 踏鍬



柄の部分は前と同じ方法で作られ、被板を木理に添ふて長ハミ幅に裁ち、之を膠で柄の下部に附着する。鍬に少し許り踏をつけるには柄の下部を具合よく斜に削り去りて然る後に鍬を着ければよろしい。

第六圖 庭かき



柄は前と同じだが併し長さをただけ短かくすること。それだ出来たらハミのを三本と、ミのを一本作

り。Lの他に他の三本を圖に示すが如く同じ間隔で又またに附着する。そこで前の柄を此の又またの中央に附

着するのであるが、脚かの端は削つて稍尖らしてもよい。

## 保育の此頃

神戸幼稚園保母 佐藤 満壽

近來教育界上の新問題として其名高きモンテッソリー女史教育法は其感覺練習に於て筋肉教育に於て將又賞罰なしの訓練に於て其の効果著しきものあり而て女史がかくまで偉大なる効果を擧げ得し功績は實に我教育界の一大光明なりとす。されど同方法を我國保育に應用するに當りて尤も心すべきは徒らに方法のみを倣ひて女史の精神を忘るるなからん事にこそ。

されば我神戸幼稚園に於ては同方法の應用の第一着として二三ヶ月來試みつゝある所を少しく左に記さん。

### ○感覺遊

幼稚園時期に於ける感覺練習は尤も必要にして此時期に於て諸感覺を練習せざれば成長の後此諸感覺は十分なる發達をなす能はずこれ實にモンテッソリー女史が意を特に此時期に於ける感覺練習に用ひる以所なりといふべし。

一、視△△△覺練習としては石、貝、大豆、小豆、ドングリ藤の實、桐の實、ユウカリの實等の自然物及木片、金輪、等の材料を二種或は三種を混じたるを分類せしむる場合あり。又はボール紙にて次第に大きさを減ずる所の圓形（最大を直徑三寸五分とし最小を直徑四分とす）十個を作り、各半面は同色の色紙を以て貼り他の半面は各々異りたる色紙